

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	89	事業名	じん臓機能障害者通院助成事業		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	じん臓機能障害者通院助成事業		中事項	じん臓機能障害者通院助成事業		部課名	南茅部支所市民福祉課		
事業開始年度	平成 4 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市じん臓機能障害者通院交通費助成要綱)					電話番号	25-6045

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 じん臓の機能に障害のある者が、人工透析療法による医療の給付を受けるための医療機関への通院に要した交通費を対象に助成することにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>【必要性】 函館市じん臓機能障害者通院交通費助成要綱による。助成対象者の経済的負担の軽減が図られる。</p>
内容	<p>助成対象者の居住地から医療機関までに要する交通費(バス料金)を要綱に基づく範囲で助成する。(申請・交付 年2回(10月・3月)) なお、助成対象者は、合併前の旧南茅部町のじん臓機能障害者通院交通費助成金交付要綱に基づき、平成16年9月までに交付申請し、交付決定を受けた者に限っている。 (平成27年6月時点 助成対象者1名) 当該事業は、合併協議会で合併後も継続することで決定している。</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		35	70	71	0	71	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		35	70	71	0	71	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合もある。</small>	職員	人工 0.01 75	人工 0.01 72	人工 0.01 73	人工 0.01 73	人工 0.01 75	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0					
	臨時職員	人工 0.00 0					
	人件費(B)	75	72	73	73	75	0
総事業費計(A+B)		110	142	144	73	146	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
助成対象者	人	1	1	1	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	平成24年度助成対象者実績 1人(6ヶ月分) 平成25年度助成対象者実績 1人(12ヶ月分) 平成26年度助成対象者実績 0人
------	---

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	助成対象者の経済的負担の軽減が図られる。 平成26年度は、助成対象者が入院等により交通費が発生しなかったため実績がなかった。
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	評価対象外	コスト・負担	コストの節減度	評価対象外	バス運賃を基に助成額を積算しているため、運賃の値上げにより増加する可能性がある。また、助成額は所得税の課税状況により区分して積算している。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		将来コスト増減見込み	評価対象外	
				受益者負担の適正度	評価対象外	
成果・有効性	成果の達成状況	評価対象外	執行方法	外部委託の可能性	評価対象外	当該事業は、要綱に基づき市が執行しており、年2回の申請受付としている。
	事業目的実現のための手段	評価対象外		実施方法の効率性	評価対象外	
評価結果から明らかになった課題事項など		当該事業は、今後、助成対象者が増えることはないが、バス運賃の値上げにより助成額が増加する可能性がある。一定期間申請がない場合は、対象者本人や家族に対し、今後の申請について確認が必要となる。				

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現在、助成対象者は1名で、この対象者が事業の対象外となった時点で廃止となるが、それまでの間は現行どおり継続する。
	廃止	(経費について) 上記と同様に廃止までは現行どおり継続する。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--